

大玉村学校支援地域本部事業訪問

- どこ 玉井幼稚園
- いつ 平成22年11月29日(月)
- なに 幼稚園の発表会で使う衣装や小道具作り

例年発表会に使う衣装は、幼稚園の先生方の手作り。しかし、全員分の衣装やかつらなどを作るのは大変。そこでボランティアの登場となりました。



たのしく小道具作りをするボランティアの方々

ボランティアの方にインタビュー

◎なぜボランティアに応募したのですか？

玉井幼稚園では自分の子どもが大変お世話になりました。自分の子どもはすでに卒園していますが、今の幼稚園の子どもたちにも楽しくやってほしいと願いボランティア活動に参加しています。

* 自分の子どもがいなくても大玉の子ども
健やかな成長を願いボランティア活動をする。
まさに「地域の子どもは地域で育てる」です。



学校支援本部事業の中心的役割・・・コーディネーターの佐久間さん

ボランティアの方々と一緒に楽しそうに小道具作りを行う佐久間さん。学校から依頼があるとボランティアとの打合せに大忙し。学校の負担をなるべく少なくしようと精力的に動いています。

- どこ 玉井小学校(5年2組)
- いつ 平成22年11月29日(月)
- なに 家庭科のエプロン制作の補助
(特にミシン指導補助)

ちょっとしたミシンのトラブルでも子どもには調整が難しいものです。そこでボランティアの登場です。当日は3人の方々が子どもたちを支援していました。



子どもたちにインタビュー

◎ボランティアの方に教えてもらってどうですか。

先生が1人のときは、困ったときに先生を呼んでもすぐ来てもらえないのでずっと待っていました。でも、ボランティアの方がいるとすぐ来てくれるのでとてもよかったです。返し縫いを丁寧に教えていただきました。

* 当日ボランティアの方も大忙し。子どもたちの間を所狭しと移動しながら指導していました。

担任の斎藤先生・・・とっても助かりました！感謝です。

ミシン指導に困っていても、自分でボランティアを捜すのは大変だし、その労力を考えると「もう自分でやった方がよい」という気持ちになり、今回の授業は一人で苦勞したと思います。コーディネーターやボランティアの方々に感謝いたします。

